

2019 年度実施概要

学校名

新居浜市立多喜浜小学校

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

取り組みの概要

1 活動のねらい

本校は、世界で唯一、塩田施設を有し、「塩の学習館」において、「塩作り体験」を行うことができる。このような施設や多喜浜塩田の文化遺産を核にして、本校を新居浜市の「ふるさと学習」の拠点として位置付け、学習活動を展開する。様々な学習活動を通して、地域の文化遺産を未来に伝える意義や方策、また多喜浜塩田の歴史と海とのつながりについて学び、学習の内容や成果を積極的に発信し、保護者、地域と連携して持続可能な社会の担い手を育てる教育を実践する。

2 実施内容**(1) 海っこタイム**

次年度からの教科化にあたり「海っこタイムがはじまるよ～」と称した特別授業を行った。児童に新しい教科に対する期待感をもたせ、学習への意欲を高めるために、愛媛県総合科学博物館から講師をお招きし、座学と体験活動を行った。午前中はオリエンテーションで多喜浜塩田の歴史に触れながら、多喜浜と海とのつながりの深さを学んだ。そして午後からは、地元黒島海浜公園の海岸へ移動し、磯に生息する生物やゴミの状況などを知る磯活動を行った。

**(2) ふるさと学習「瀬戸内工進曲」の観劇**

ふるさと学習の一環で、ミュージカル「瀬戸内工進曲」を観劇した。ミュージカル鑑賞が初めての子どもが多く、生で見るミュージカルに圧倒されていた。笑いあり、涙ありの感動の時間を過ごすことができ、新居浜市の誇る別子銅山の歴史や環境問題などを分かりやすく学ぶことができた。



(3) 防災参観授業

防災に関する授業を行った。大雨が続いて災害になった場合、避難するときには持っていくものや避難所の位置について確認を行った。起震車体験等、校区の防災訓練に参加した後は、地域の方と協力して集団下校を行い、防災マップ等で危険箇所を確認した。こうした貴重な訓練活動を通じて、災害時に自分の命を守るよう、継続して防災意識を高めていきたい。



(4) 塩づくり体験

5年生が、地域の塩資スタッフといっしょに塩作り体験を行った。前半は多喜浜塩田の歴史についてのDVDを鑑賞し、公民館2階にある展示室で塩作りの様子や道具について詳しく教えていただいた。後半は「ソルティ多喜浜」へ移動し、流下盤や枝条架の仕組みを観察した。その後、「塩の学習館」で、友達と協力しながら塩作りを行った。地域の方から『かしょい』（助け合い）の精神を受け継いでほしい。」というお話もあり、多喜浜の歴史や仲間と協力することの大切さを学ぶことができた。



(5) 市郷土芸能発表会

郷土芸能発表会の「ソルティちゃん音頭・塩田讃歌」に児童19名が参加した。指導の先生や、地域、保護者の方々から御協力をいただき、昼休みの時間に練習を重ね、本番では華やかな踊りを披露することができた。地域の伝統を継承し、ふるさとを愛する心を育むことができた。



(6) 大島見学

1・2年生が地元の大島を見学した。大島では、恵まれた環境を利用して、「白いも」の栽培をしたり海で魚を捕ったりして生活をしていること、昔は海賊がいたことや城があったという話を聞くことができた。見学後は、地元の漁協の方に漁業の仕事についてお話をいただき、子どもたちは珍しい魚やおいしい魚、危険な魚などについて学ぶことができた。



(7) ドリームフェスティバル

2年生がおもちゃ作りに取り組み、1年生を招待してドリームフェスティバルを開催した。「さかなつり」、「とことこガメ」、「ヨットカー」など工夫したおもちゃが並んだ中、2年生が「いらっしやい、楽しいよ。」など大きな声で呼びかけながら場を盛り上げ、学年の交流が図られた。



(8) 塩田ウォーク

6年生と3年生で塩田に関する地域の遺産を巡る「塩田ウォーク」を行い、6年生が塩田について学んだことを3年生に伝えた。地域の方々と何度も打合せを重ね、塩田文化をつないでいきたいという地域の方々の思いも含め、多喜浜塩田の歴史をしっかりと伝えることができた。



3 地域との連携

- ・全学年を通して、地域の方の協力を得ながら学習活動を展開することができた。学習成果については、活動に参加していただいた地域の方々から子どもたちに直接温かいお言葉をいただき、ふるさとや海、山、川などの自然を大切にする意識を高めることができ、児童の健全育成に連携して取り組むことができた。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・体験活動を通じて地域の海に親しみをもち、生物や海洋環境を守る意識を醸成できた。
- ・地域の良さを見直し、地域の一員としての自覚、一体感をもつことができた。
- ・人と関わりながら、問題を解決できる力を身に付けることができた。
- ・関係団体との学習や交流を通じて、コミュニケーション能力を育てることができた。

(2) 課題

- ・他校にも多喜浜塩田について学ぶ機会を、さらに提供できるような工夫が必要がある。

- ・これまでのふるさと学習と海洋教育との繋がりを子どもたちに意識して学習させるため、年間指導計画を立て、内容・時間とも無理のない実現可能な学習ができるようにしたい。
- ・児童が地域の歴史や海洋について様々な学習活動を通じて学んできたことを、自分の意見や考えに自信をもって話すことができるよう、コミュニケーション能力の育成に取り組んでいきたい。

実施単元名

1年生	総合的な学習の時間「大しまたんけんにいこう」
2年生	総合的な学習の時間「町たんけんをしよう」
3年生	総合的な学習の時間「塩田ウォーク」「塩ってどんなもの」
4年生	総合的な学習の時間「多喜浜の昔 知りたいな」
5年生	総合的な学習の時間「目指せ！塩田マイスター」
6年生	総合的な学習の時間「地域の誇り多喜浜塩田再発見」